

# 渋川小学校の歴史 1

江戸末期から昭和へ

江戸  
末期

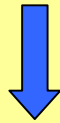
<開校以前の教育>・・・「渋川・白鳳 小学校百年史」より

江戸時代末期の印場村の寺子屋は、三ヶ所開設されていた。教師は、僧侶、神官、医者にたずさわる人々で経営者でもあった。印場村良福寺、印場村浅見宅、庄中林宅の三ヶ所で生徒数116名、・・・当時の村民の教育熱は非常に高いものと考えられる。

寺子屋の修業年数は、およそ4ヶ年とし、主として習字を行った。・・・授業時間は一日、線香五本といい、五本の線香の燃え尽きるまでで、おおむね、朝の九時頃から、夕方四時頃までで、現在とあまり変化はなかったよう

明治  
時代

- (明治5年 学制発布)
- 明治6年 良福寺内に小学渋川学校開校
- 明治9年 斎場学校とし改称
- (明治19年 小学校令公布)
- 明治39年 旭第四尋常小学校と改称
- 明治45年 旭第三尋常小学校となる



大正  
時代

- 大正7年 スペイン風邪で1名亡くなる。42名が停学。
- 大正8年 旭第三実業補習学校が併設された。旭村内の3校の6年生が卒業前の参宮旅行を行う。
- 大正10年 村に電気が通る、夜間だけ電灯がついた。
- 大正12年 新築校舎落成。

昭和  
時代

- 昭和6年 大森小学校にて南部4校連合運動会を挙行
- 昭和9年 学期末に通知表が渡される。評価段階は十点から九点まで甲、乙は八点から七点、丙は六点から五点、丁は四点以下とした。(百点を十点として計算)
- 昭和12年 5月、6年生の児童が修学旅行で伊勢方面に二泊三日で出発する。児童 数250名。3月、6年生名古屋方面に社会見学。
- 昭和13年 二宮金次郎像除幕式(現存)。
- 昭和14年 防空訓練。
- 昭和16年 学校内の鉄資源回収。くさり、ボルトなど。(12月8日太平洋戦争勃発)  
旭村渋川国民学校となる。
- 昭和18年 校旗制定
- 昭和19年 校庭にサツマイモ作る。名古屋などからの疎開児童が増える。体操の授業  
はみな田畑の仕事だった。
- 昭和20年 毎日空襲警報。(8月15日終戦)
- 昭和21年 児童数348人。PTA委員選出。  
全国でララ物資(\*LARA物資=アジア救援公認団体が提供した脱脂粉乳や衣類)による学校給食開始。
- 昭和22年 (3月、学校教育法。六・三制など開始。)  
旭村立渋川小学校となる。
- 昭和23年 第1回PTA協議会。PTA主催浪曲大会。